
想い出一本！

星屑銀河

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

想い出一本！

【Zコード】

Z7012P

【作者名】

星屑銀河

【あらすじ】

主人公の五十嵐空は入学初日に先輩とぶつかってしまった。

先輩の名前は月島美波。

月島先輩との出会いが空を変える。

出でいの季節

「ピコピコ」

鳥が鳴いている。

「スーザーーー」

心地よい風がサクラを散らしながら吹いている。

今は4月、今日から新学期である。俺は今日から高校生になるのだが不安でいっぱいだった。

一人で登校していると、後ろから、「空、オハヨー！」

朝から元気に挨拶してきたのは俺の数少ない友達の一人の、天乃川陸である。ちなみに俺の名前は、五十嵐空。

「陸、おはよう」

「そういえば俺と空は同じ学校だつたな」「もしかして忘れてたの？！」

「冗談だよ。早く行かないと遅刻するぜ」

陸は笑いながら走つて行つてしまつた。

俺も負けずに陸について行こうとした。

「ドン！」

俺は誰かとぶつかつた。

「いたあ～い」

倒れている人を見るとそこには、妖精のような綺麗な女の子がいた。着ている制服を見ると俺と同じ学校だった。

「ごつ、ごめんなさい！」

「大丈夫だよ、気をつけなさいね。」

とても優しい声だった、一目惚れしそうだった。

「なにずっと見てるのよ…」

俺は慌てて目線を変えた。

「そりいえば見ない顔だね。もしかして一年生？」

「はい！俺は五十嵐空といいます」
俺は元気に自己紹介した。

「私は2年の月島美波、よろしくね」
「よろしくお願ひします！」
「よかつたら放課後に剣道部見に来てね」
僕は喜びながら「はい」と答えた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7012p/>

想い出一本！

2010年12月31日04時47分発行